



2005年10月2日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
お問合せは上記へ

鈴木やす子議員
の一般質問から

9月議会での、鈴木やす子議員
の一般質問の概要を紹介します。

市立病院は最優先の課題

【鈴木やす子】市立病院は、市民が安心して暮らせる大きな保証になっている。それがいま存亡の危機に立ち、行政課題の優先順位がかわるほどの事態である。市民

の納得が得られてない漁業歴史資料館建設を凍結しても、生命に直結する病院を何とかしてほしいという市民の声は少なくない。東電との約束を守ると言うが、

市長には5万市民の生命とくらしを守る責任がある。改めて見解を問う。

【市長】漁業歴史資料館と病院問題とは別個の問題として取り組んでいく。

【鈴木】県北医療圏として、県はどう認識し、どういう改善方向を示しているのか。また市としてどのような要望を伝えているのか。

【市長】県は、医師の確保は各病院が主体的におこなうべきとしているが、いまの事態を憂慮し、協力する姿勢は示している。市としては、来年度以降は、救急医療体制を確保できるように協力を要望している。

介護保険の負担増

【鈴木】介護保険に関する法律が改悪された。自己負担は具体的にどのようになるのか。また来年4月から、さらに大きな改変が予定されている。担当課では検討されているのか。

【市民福祉部長】施設に入所している人の居住費と食費が、この10月から介護保

険の対象外となる。ただし低所得者の負担増加分は、補足支給される。

来年4月からの見直しは、国の動向をふまえて検討する。

【鈴木】介護に、食や住といった基本的な部分で負担増を押しつけること自体が問題である。低所得者への減免措置を強く要望する。また制度の改変が、介護の現場に混乱をもたらしている。事業者と利用者に十分な説明をすべきである。

アスベストの点検

【鈴木】水道管として使われていた石綿セメント管の更新についてはどうか。水道水中のアスベストは問題ないとのことだが、この石綿管はもろく漏水トラブルも多く、随時更新されてきている。まだ残っているその距離数、ならびに予想される工事費はいくらか。

【水道部長】安価な水道管材として広く利用され、当市でも水道創設時期の昭和39～47年度に使用し、現在

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>
編集部では身近な情報をお待ちしています。



JICA(国際協力機構)の招きで来日したガンビア国のピーター・バルデさんが、1カ月間の農業研修の締めくくりとして北茨城に4日間滞在し、鈴木やすこ市議宅の有機農業のほか、市内の農家などを見学。

表敬訪問で、市長さんとも親しく懇談



西アフリカから研修生

小山ダムと水道料

【鈴木】本格稼働した小山ダムの使用者負担について

の残存延長は42km、配水管全延長に対し15%、更新概算費用は約17億円である。本年度で第3次拡張事業が完了するので、今後は老朽管の更新事業に積極的に取り組んでいく方針である。

【鈴木】小山ダムの建設の負担金支払いで予算が多く使われ、更新事業にまわって取り組むことができなかったと聞いている。ダム建設に強く反対してきた私どもとして、改めて憤りの念を抱くものだ。

【水道部長】昭和57、59年度に料金改定をして小山ダム建設の資金の確保をはかってきた。茨城県ダム砂防室によると年間管理費は約5500万円、北茨城市水道事業の負担は年約200万円となる見込み。経費の節減をはかり、現在の水道料金を維持していくよう努める。